



# 洗面器 (手洗器)

## 取扱施工説明書

使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このたびは、洗面器(手洗器)をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

### 安全上のご注意

施工・使用される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

**必ず実行** していただく「強制」を示します。

**禁止** してはいけない「禁止」を示します。

**注意** 気をつけていただきたい「注意」を示します。

### 施工上のご注意

**必ず実行**

- 器は平らなカウンターに設置してください。破損および故障の恐れがあります。
- 指定位置には必ずシリコンコーキング等のシール材(防カビタイプ)を塗布してください。漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。
- 排水金具の締付ナットは、器の破損を防止するため、ゴムパッキンの弾性を失わない程度に締付けてください。

**注意**

- 施工前に、輸送中の破損がないかご確認ください。
- 施工される際、器に大きな荷重(人がのる、ものをのせる等)を加えたり、強い衝撃(ものを落とす、たたく等)を与えたりしないでください。破損および故障の恐れがあります。
- 本品と合わせて使用する水栓金具は、必ず止水栓(流量調整のできる器具)を取付けた配管に設置してください。
- 施工後の確認を必ず行ってください。
- 施工完了後、お客様が使用されるまでの間、器の表面にキズや汚れがつかないように、養生シート等で保護してください。

### 使用上のご注意

**禁止**

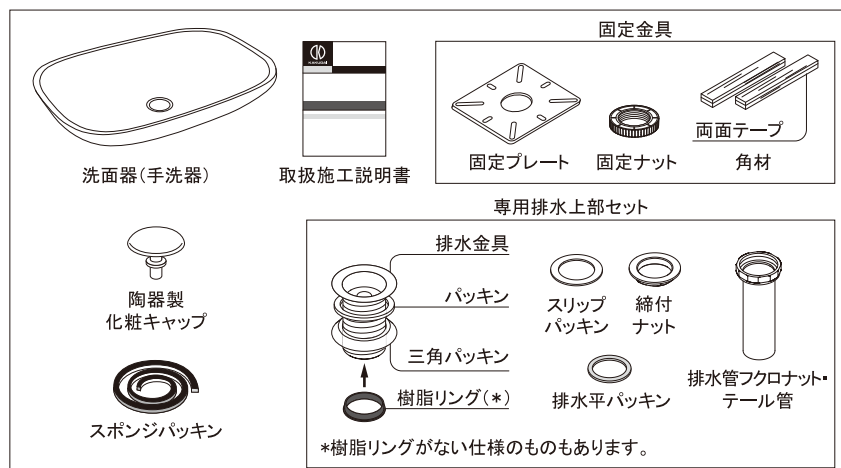
- 器に熱湯や油、シンナー等の溶剤を流さないでください。破損および故障の恐れがあります。また、漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。
- 器に大きな荷重(人がのる、ものをのせる等)を加えたり、強い衝撃(ものを落とす、たたく等)を与えたりしないでください。破損および故障の恐れがあります。
- 器にひびが入ったり、割れたりした場合、破損部には素手で触らないでください。破損部でケガをする恐れがあります。
- 器にひびが入った状態で使用しないでください。突然割れてケガをする恐れがあります。

**注意**

- 汚れを長く放置すると表面に汚れがしみ込むことがあります。水拭きをし、こまめにお手入れをしてください。
- お手入れの際、クレンザー等の目の粗い洗剤やたわし、または酸性・アルカリ性・塩素系洗剤・ベンジン・油等は使用しないでください。表面を傷める恐れがあります。
- 金属類(ヘアピン、カミソリの刃等)を放置しないでください。サビが付着して取れなくなる場合があります。
- スチームクリーナーは、器が破損する原因となりますので、使用しないでください。

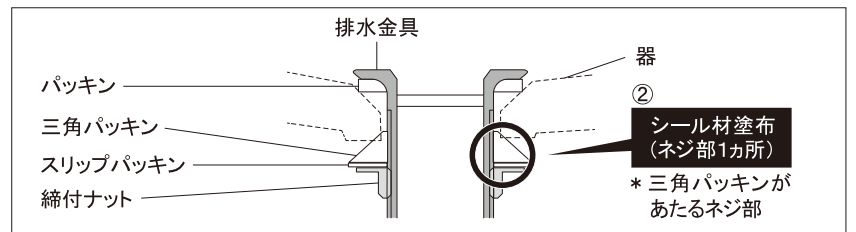
### 製品同梱明細

施工される際は、下記の部材があることをご確認ください。



### 取付方法

#### 1. 排水金具を取付けます。



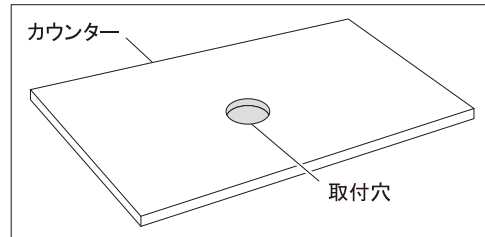
- ①パッキンがついていることを確認し、排水金具を器の穴に差込みます。
- ②器の裏面から三角パッキンが当たるネジ部1カ所にシール材を塗布します。
- ③三角パッキン・スリップパッキンを通し、締付ナットで締付けます。



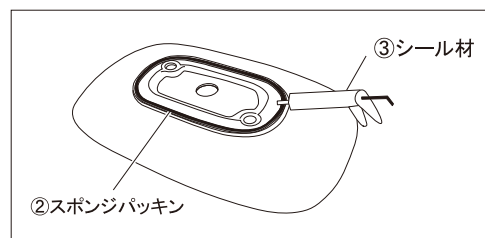
必ず実行

- 排水金具取付けの際は、漏水を防止するため、必ず指定位置にシリコンコーキング等のシール材を塗布してください。
- 締付ナットは、器の破損を防止するため、ゴムパッキンの弾性を失わない程度に締付けてください。

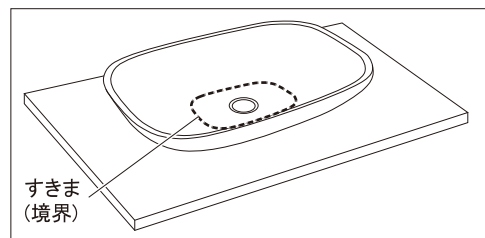
#### 2. 器を取付けます。



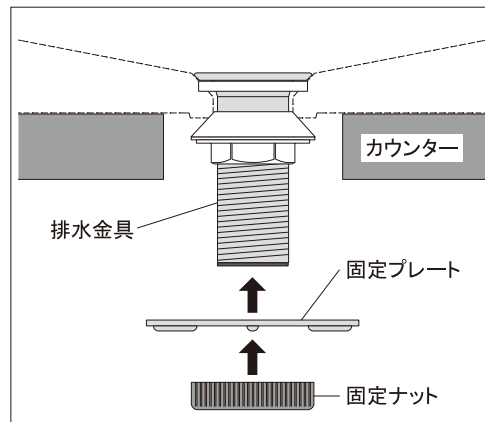
- ①器を取付けるカウンターに指定の取付穴を開けます。  
\*取付穴は器の仕様図面をご参照ください。



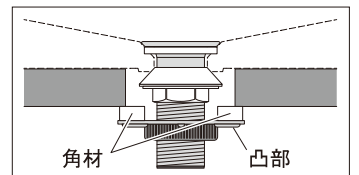
- ②器裏面のカウンターと接する部分の外側寄りに、スポンジパッキンを貼付けます。  
\*スポンジパッキンは伸びやすいので、はくり紙を少しづつはがし、伸びないように注意しながら貼ってください。
- ③器裏面のカウンターと接する部分(スポンジパッキンの内側)にシール材を塗布し、カウンターに設置します。



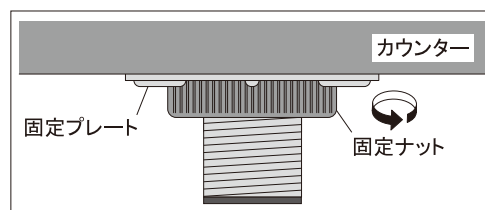
- ④器とカウンターのすきま(境界)にシール材を充てんし、きれいに仕上げます。



- ⑤固定プレートを排水金具に通し、固定ナットで締付けます。  
\*カウンターの取付厚が10~20ミリの場合は、固定プレートの凸部が無い面の両端に角材を貼付けてご使用ください。

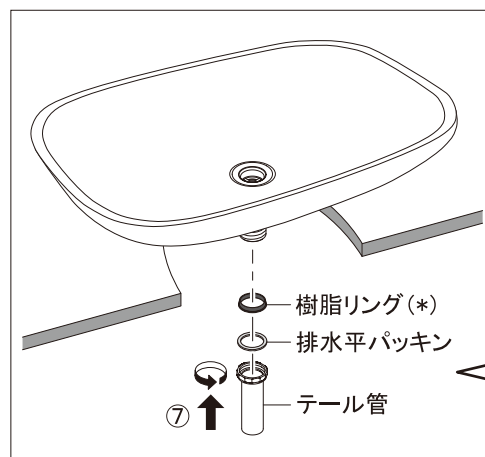


- \*カウンターの取付厚が少ない場合は別途厚みのある角材などをご用意ください。

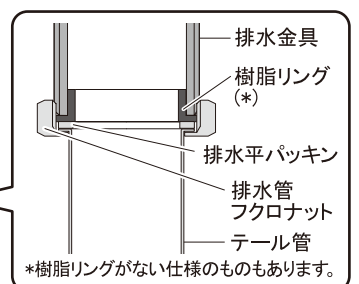


- ⑥固定ナットを手締めでしっかりと締付けて、器を固定します。

\*締付けの際は、器の傾きや中心のスレがないように締付けてください。



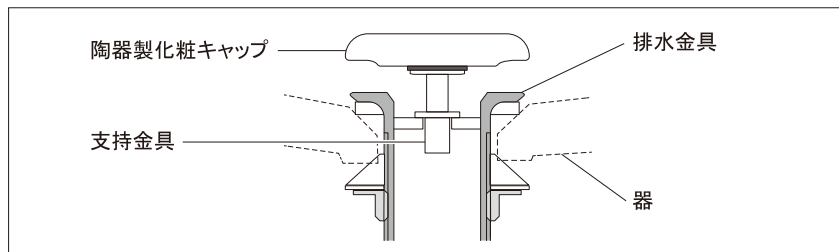
- ⑦排水金具に樹脂リング(\*)がついていることを確認のうえ、排水管フクロナットに排水水平パッキンを入れて、排水金具にテール管を取付けます。  
\*樹脂リングがない仕様のももあります。



\*樹脂リングがない仕様のももあります。

## 取付方法(つづき)

### 3. 化粧キャップをセットします。



陶器製化粧キャップの支持金具を排水金具の穴に差込んでセットします。

### 4. 水栓金具(別売)・排水トラップ(別売)を取付けます。

\*詳細は器具の説明書をご参照ください。



注意

施工後の確認が完了するまでは、水栓金具を吐水させた状態等でその場を離れないでください。漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。

## 施工後の確認

\*施工後は、止水栓または元栓を開いて通水し、必ず下記確認を行ってください。

#### ①洗面器(手洗器)の取付状態の確認

ガタつきがないか確認をします。

#### ②水栓の吐水量の確認、および調整

水栓を吐水させ適正な吐水量であるか確認をします。

\*水ハネが激しい場合は、止水栓を絞ってください。

\*吐水量が排水能力を上回る(あふれる)場合は、適正水量になるまで止水栓を絞ってください。

#### ③水もれ、排水の確認

通水・排水経路の接続各部に水もれがないか、排水がスムーズに行われるか確認をします。

\*詳細は、各器具の説明書をご参照ください。



注意

メンテナンス等で、止水栓を閉じ、再び開く場合等には、水栓の吐水量の確認、および調整を必ず行ってください。( **施工後の確認** ② )